

一般財団法人岡山県国際交流協会 令和3年度事業報告

(下線は新規事業)

1. 国際交流の推進に関する事業

(1) 海外移住者関係団体活動支援事業 [支出額 0 千円]

内 容 海外移住者の交流、若しくは移住者等と県民及び県内に在住する移住者等の家族との交流に貢献している関係団体に対し、活動支援を実施
活動費交付 0 件

(2) 海外技術研修員等ネットワークづくり [支出額 24 千円]

内 容 帰国した研修員に向けて、協会会報誌の研修員関連記事や岡山県に関する外国人向け情報等を日本語・英語の2か国語でメールや郵送により情報を発信した。

(3) 留学生と県民との交流会 (2 回) [支出額 151 千円]

実施日 第1回 令和3年6月12日(土)
第2回 令和3年12月18日(土)
内 容 岡山に在住している留学生を迎え、出身地の紹介やクイズなどで交流した。
講 師 第1回 台湾、ベトナム、スリランカの留学生5名(参加者26名)
第2回 台湾、ベトナム、中国の留学生9名(参加者56名)
※新型コロナにより第1回はオンラインで実施

(4) 留学生等による国際理解学習支援プログラム [支出額 197 千円]

実施期間 令和3年9月～令和4年1月
内 容 小学校側が企画した授業案に適した留学生等を講師として派遣し、出身地紹介、自国の歌、ゲーム等を通じ、児童と交流を図った。
※新型コロナにより1校はオンラインで実施
講 師 延13名(香港、フィリピン、中国、米国、韓国、ベトナム、台湾、ネパール)
実施校 5校

(5) ワールド・エクササイズ [支出額 2 千円]

内 容 高齢者や小さい子どもも参加できる体操やストレッチ、踊り、アイスブレイクゲームなど、日本発祥のものや、留学生等講師のアイデアによる各国のレクリエーションを複数体験し身体を動かしながら交流する。
※新型コロナの影響で中止

(6) 外国人コンシェルジュによる楽しい居場所づくり事業 [支出額 314 千円]

内 容 留学生をコンシェルジュとしてセンターに配置し、窓口対応や事業企画・実施等を担当させることにより、センターが外国人や県民、特に若者の楽しい居場所とした。

2. 国際協力・貢献に関する事業

(1) 国際貢献ローカル・トゥ・ローカル技術移転事業 [支出額 0 千円]

内 容 海外から、技術研修生を受け入れる。
※新型コロナの影響で中止

(2) 国際貢献NGO フェア [支出額 7 千円]

実施期間 令和4年1月13日(木)～3月23日(水)
場 所 岡山国際交流センター 1階 ロビー 他
内 容 NGO 団体が活動状況等をパネル展示等により紹介 (1 団体 1 週間)
希望する団体は講演会等を開催する。
展示団体 10 団体 (1 団体キャンセル)
講演会開催団体 1 団体 (キャンセル)
主 催 (一財)岡山県国際交流協会
共 催 (特活)岡山県国際団体協議会

(3) 国際貢献・協力セミナー [支出額 12 千円/収入額 6 千円 (共催負担金)]

実施日 令和3年10月31日(日)
内 容 講演【ガーナにカカオ革命を!カカオ取引に新たなビジネスモデルで挑む】
田口 愛氏 (Mpraeso 合同会社 CEO、国際基督教大学3年生)
※新型コロナによりオンラインで実施
参加者 26 名
共 催 岡山発国際貢献推進協議会、(特活)岡山県国際団体協議会

(4) SDG s 推進事業 [支出額 95 千円/収入額 60 千円]

実施日 令和3年12月4日(土)
内 容 ①イントロ対談
藤原 辰史氏 (京都大学人文科学研究所准教授)
澁谷 和朗氏 (JICA 中国 市民参加協力課長)
②基調講演
「食品乾燥で世界を豊かに
～電気食品乾燥機の普及を通じて実現する、スーダンでの国際貢献～」
安原 宗一郎氏 (大紀産業株式会社代表取締役社長)
③事例発表
「ごはんができたよ～地域の子どもの居場所づくり～」
紀 奈那氏 (一般社団法人子どもソーシャルワークセンターつばさ代表理事)
④トークセッション
安原氏、紀氏ほか
※新型コロナによりオンラインで実施
参加者 34 名
共 催 JICA 中国、岡山発国際貢献推進協議会、岡山フェアトレードの会
後 援 岡山県教育委員会、岡山市教育委員会、岡山 ESD 推進協議会

3. 国際理解に関する事業

(1) 英語で話そう〔支出額 77 千円〕

実施日 令和3年9月4日(土)
内 容 ローレンス・ダンテ氏(就実大学教授)による講演及びワークショップ
※新型コロナによりオンラインで実施
参加者 9名
対 象 日常英会話のできる方
参加費 協会会員/外国人/高校生以下 無料、一般2,000円

(2) 地球市民講座〔支出額 139 千円〕

実施日 令和4年2月12日(土)
内 容 講演「IT先進国エストニアに学ぶ 日本の未来」
谷本 有香氏(Forbes JAPAN Web 編集部 編集長)
参加者 7名
※新型コロナによりオンラインで実施

(3) 外国語講座(中国語・インドネシア語)〔支出額 5 千円〕

①中国語講座

場 所 岡山国際交流センター 6階 会議室 他
実施日等 <入 門> 毎週土曜日 17時40分~19時10分
<初 級> 毎週土曜日 19時20分~20時50分
<中 級> 毎週日曜日 17時~18時30分
<上 級 A> 毎週土曜日 10時~11時30分
<上 級 B> 毎週日曜日 10時~11時30分
実施回数・受講者数 <入 門> 延36回、延139名
<初 級> 延36回、延133名
<中 級> 延36回、延205名
<上 級 A> 延36回、延229名
<上 級 B> 延36回、延264名
受講料 6か月間 テキスト代別 高校生以下 13,000円、協会会員 15,000円
一般 18,000円
共 催 岡山県華僑華人総会

②インドネシア語講座

場 所 岡山国際交流センター 6階 会議室 他
実施日等 <初 級> 毎週土曜日 13時~14時45分
<中 級> 毎週日曜日 13時~14時45分
実施回数・受講者数 <初 級> 延35回、延248名
<中 級> 延35回、延223名
受講料 1年間 テキスト代別 15,000円
共 催 岡山インドネシア友好協会

(4) 国際理解学習プラン講師派遣事業 [支出額 319 千円]

実施期間 令和3年9月～令和4年2月
内 容 県内の NGO 団体を、小中高等学校(全県から公募)へ講師として派遣し、各校で各 NGO 作成の学習プランを実施
派遣団体 ・アジア農村協力ネットワーク岡山 ・日本ユニセフ協会
・世界女性会議岡山連絡会 ・ダフェプロジェクト
・(株)AMDA 社会開発機構
実施校 小学校 3校(岡山市1、倉敷市1、玉野市1)
中学校 3校(岡山市1、備前市1、瀬戸内市1)
高等学校 2校(倉敷市1、笠岡市1)

(5) 図書資料室の運営 [支出額 3,331 千円]

【海外マガジン リサイクル週間】

実施日 令和3年11月8日(月)～20日(土)
場 所 岡山国際交流センター 4階 図書資料室
内 容 海外マガジン及び除籍図書のリサイクル(無料譲渡)
利用者 延67名

(6) 韓国語講座 [支出額 319 千円/収入額 369 千円]

実施日等 <入 門> 第1・3水曜日
[令和3年5月19日(水)～令和4年3月16日(水)]
19時20分～20時30分
<初 級> 第2・4金曜日
[令和3年5月12日(水)～令和4年3月9日(水)]
19時20分～20時30分
<会 話> 第1・3金曜日
[令和3年5月21日(金)～令和4年3月4日(金)]
18時30分～17時40分
<韓国文化講座>令和3年10月22日(金) 18時30分～20時
韓国伝統舞踊について講義と体験
場 所 韓国語講座：岡山国際交流センター 4階 図書資料室
韓国文化講座：岡山国際交流センター 7階 多目的ホール
実施回数・受講者数
<入 門> 全20回、延211名 [定員15名、申込者15名]
<初 級> 全20回、延124名 [定員15名、申込者13名]
<会 話> 全20回、延176名 [定員15名、申込者15名]
<韓国文化講座> 20名
受 講 料 韓国語講座 協会会員8,000円、一般10,000円(テキスト代別)
韓国文化講座 協会会員・受講生 無料 一般 500円

(7) 親子で遊ぼう—Family Friendly Event— [支出額 75 千円]

内 容 英語の絵本の読み聞かせ会、外国の言葉や文化についての話等
実施日 第1回:令和4年1月23日(日)
第2回:令和4年3月12日(土)

※第1回は、新型コロナの影響で中止 ※第2回は、新型コロナによりオンラインで実施

4. 外国人に対する情報提供等に関する事業

(1) 情報相談コーナーの運営（情報提供及び相談への対応）〔支出額 1,649 千円〕

内 容 生活相談、観光情報、日本語講座関連情報、ボランティア情報等
相談件数 2,110 件〔日本人 1,504 件／外国人 606 件〕

(2) 外国人相談センターの運営〔支出額 7,724 千円〕

内 容 在留外国人への各種相談、情報提供を計 20 か国語で提供する。
面接・トリオフオン・メールで受付し、適切な関連機関へ取り次ぐ。
相談件数 1,090 件
法律相談 12 件
相談員派遣 0 回

(3) 多言語相談事業〔支出額 804 千円〕

【多言語相談〔中国語・ポルトガル語・ベトナム語・タガログ語・韓国語〕（141 回/年）】

実施日 〈中国語・ポルトガル語〉

毎月第 1・第 3 土曜日 9 時～13 時

第 2・第 4 水曜日 13 時～17 時

〈ベトナム語〉

毎月第 1・第 3 土曜日 9 時～13 時

〈タガログ語〉

毎月第 3 木曜日 10 時～14 時

〈韓国語〉

毎月第 4 水曜日 13 時～17 時

場 所 岡山国際交流センター 1 階 情報相談コーナー相談室 他

内 容 県内在住の外国人を対象に生活情報の提供及び生活相談を、中国語・ポルトガル語・ベトナム語・タガログ語・韓国語の 5 言語で対応

相談件数 延 28 件

〔中国語 7 件/ポルトガル語 5 件/ベトナム語 3 件/タガログ語 13 件/韓国語 0 件〕

【相談員スキルアップ研修会】

実施日 令和 3 年 11 月 13 日（土）13 時 00 分～14 時 30 分

内 容 講義「外国人の消費者トラブルの対応」、質疑応答

矢吹 香月氏（岡山県消費生活センター 消費者教育コーディネーター）

対 象 多言語相談員

参加者 14 名（うち 7 名は研修会録画を視聴）

※新型コロナによりオンラインで実施

(4) 外国人のための無料法律相談（11 回）〔支出 307 千円〕

実施日 毎月第 3 土曜日（4 月を除く）

場 所 岡山国際交流センター 6 階 多目的ルーム A 等

内 容 ・弁護士が対応

・結婚・離婚、交通事故、雇用主とのトラブル等についての相談

相談者 延 14 名〔定員 各 3 名/月〕

相談件数 延 17 件

共 催 岡山弁護士会

(5) 行政書士による出入国手続き等相談事業〔支出額2千円〕

実施日 毎月第1・第3土曜日
場 所 岡山国際交流センター 1階 情報相談コーナー
内 容 行政書士が出入国手続き等に関する相談に対応
相談者 延49名〔日本人14名／外国人35名〕
相談件数 46件
共 催 おかやま申請取次行政書士連絡会

(6) 多文化共生マップ〔支出額162千円〕

実施期間 令和3年4月～令和4年3月
内 容 インターネットで提供されている地図情報サービスを利用して、多文化共生に必要な施設や団体等の多言語情報を地図上に掲載し、協会ホームページ上で情報を提供
掲載言語 日本語、英語、中国語、韓国語、ポルトガル語、ベトナム語で掲載
掲載箇所 141箇所

(7) 多言語による情報提供事業〔支出額138千円〕

実施期間 令和3年4月～令和4年3月
内 容 日常生活に必要な生活情報を簡潔にまとめた「外国人のための岡山生活情報ハンドブック」及び各団体のサイトを集めたリンク集「外国人のための生活情報」を更新し、協会ホームページから在住外国人に情報を提供
掲載言語 英語、中国語、韓国語、ポルトガル語、ベトナム語、スペイン語、インドネシア語他

(8) 岡山の魅力発信事業〔支出額920千円〕

実施期間 令和3年4月～令和4年3月
内 容 県内在住外国人等が取材した、おかやまのイチ押し情報を掲載。サイト上のジャンルは「観光」「グルメ」「イベント」「温泉」など
実 績 月4言語×2～3記事程度を掲載
アクセス総計：11,449件

(9) SNSを活用した情報発信事業〔支出額84千円〕

内 容 関係者のニーズを踏まえた適切な情報収集や関係団体との情報共有のほか、ネットワーク強化、当協会の顧客である外国人や県民に有益な情報を提供

5. 多文化共生社会実現に関する事業

(1) 日本語講座〔支出額1,074千円〕

実施日 火曜日 10時～11時40分（入門～中級）〔延33回、延146名〕
" 18時30分～20時10分（入門～中級）〔延31回、延139名〕
水曜日 10時～11時40分（入門～中級）〔延30回、延148名〕
" 18時30分～20時10分（入門～中級）〔延31回、延131名〕
木曜日 10時～11時40分（入門～中級）〔延30回、延186名〕
金曜日 10時～11時40分（入門～中級）〔延30回、延237名〕
土曜日 15時10分～16時50分（入門～中級）〔延32回、延100名〕

場 所 岡山国際交流センター 6階 会議室 他
対 象 者 小学生以上の県内在住外国人
講 師 (特)岡山日本語センター(OJC)、岡山日本語教師ネットワーク(OJN)のボランティア講師
受 講 料 無料(ジャパニーズクラス会員に入会が必要)
受講者数 延1,217名[延1,087回]

(2) 日本語ボランティアスキルアップ事業 [支出額 99 千円]

実 施 日 令和3年 11月6日(土)
場 所 岡山国際交流センター 7階 多目的ホール
内 容 講義「限られた時間の中でも効果的に活動する工夫」
松尾 恭子氏(公益社団法人 国際日本語普及協会(AJALT)所属日本語教師)
対 象 県内で日本語ボランティア活動をしている方等
参 加 者 参加人数 15名

(3) 日本語教室開設・活動支援事業 [支出額 11 千円]

実施期間 令和3年5月～令和4年2月
内 容 ・日本語教室を開設または日本語教室の質的向上や拡充を行うグループ、個人を支援する。(助成金の交付や教室開設支援サポーターの派遣、教室見学の助成など)
交付件数 0件(1件申請(教室開設の助成)あるも辞退)

(4) 日本語学習支援等事業 [支出額 39 千円]

内 容 日本語教材の貸出
場 所 岡山国際交流センター 4階 図書資料室
貸出対象 日本語教師ボランティア、子ども日本語学習サポーター
事業内容 日本語学習リソースコーナーの運営、図書資料の購入及び貸出業務

(5) 地域共生サポーター養成・研修事業 [支出額 212 千円]

①養成講座

実 施 日 令和3年 10月30日(土)
内 容 ①報告「地域共生サポーター制度と役割について」
影山 高司氏(岡山県県民生活部国際課 主幹)
②講義「在日ブラジル人1世からのラブコール 私が考える多文化共生論」
アンジェロ・イシ氏(武蔵大学社会学部 教授)
③グループ討論会
先輩サポーターと「地域共生サポーターとして私ができること」について話し合い発表
対 象 多文化共生や外国人支援に関心のある方
参 加 者 21名

②研修会

実 施 日 令和3年 10月30日(土)
内 容 ・講演「多文化共生と活動事例について」
松浦 和子氏(ほうふグローバルネット代表)
・発表「やさしい日本語について」
中島 正恵氏(岡山外国語学院)

・発表「在日外国人のニーズと困りごと」
フェビエス陳里氏（インドネシア出身留学生）
対 象 一般県民、地域共生サポーター登録者（岡山県に登録）
参加者 23名

(6) 岡山県地域国際化推進団体連絡協議会（2回）〔支出額 128 千円〕

実施日 <第1回>令和3年7月15日（水）13時30分～15時30分
<第2回>令和4年3月9日（水）13時30分～15時30分
場 所 <第1回>岡山国際交流センター 7階 多目的ホール
<第2回>オンラインで実施
内 容 総会及び構成団体の資質向上に繋がる研修会を実施
<第1回>総会と研修会
「仙台観光国際交流協会取り組み～外国人への情報発信の課題と～」
菊池 哲佳氏（公益財団法人 仙台観光協会 企画課企画係長）
<第2回>研修会と会議
「災害時の外国人支援について」
須藤 伸子氏（公益財団法人 仙台観光協会 国際課事業部 部長）
対 象 岡山県地域国際化推進団体連絡協議会の構成16団体および各市町村職員
参加者 <第1回>23名
<第2回>19名

(7) 多文化共生コミュニケーションサポーター派遣事業〔支出額 218 千円〕

①医療機関・行政窓口・学校等における外国人と日本人関係者のコミュニケーションを通訳ボランティアとして支援するため、語学レベルの高い人を「多文化共生コミュニケーションサポーター」として登録

登録者50名（中国語13名、英語20名、ポルトガル語3名、タガログ語3名、フランス語2名、ベトナム語1名、スペイン語1名、インドネシア語1名）

②外国人または学校・行政窓口・病院等からの要請を受け、通訳ボランティアを派遣

実施期間 令和3年4月～令和4年3月

派遣件数 0件

内 容 一般 0件

※医療機関への派遣は、新型コロナの影響で中止

③多文化共生コミュニケーションサポーターを対象とした研修会

実施日 令和4年1月14日（金）、21日（金）、22日（土）

内 容 1月14日（金）：コミュニティ通訳心得

21日（土）：医療通訳・気を付けるべきこと

22日（日）：医療通訳・ロールプレイ

講師 岩本 弥生氏

（特定非営利活動法人リソースかながわ（MICかながわ）理事、ポルトガル語通訳者、通訳コーディネーター）

※新型コロナによりオンラインで実施

対 象 多文化共生コミュニケーションサポーター登録者及び登録希望者

参加者 1月14日（金）：14名

21日（金）：14名

22日（土）：10名

(8) 子ども日本語学習サポーター事業 [支出額 693 千円]

①学校等からの依頼を受け、「子ども日本語学習サポーター」を派遣し、外国人児童・生徒の日本語学習を支援する。

実施期間 令和3年5月～令和4年2月
派遣件数 14校(小学校10校、中学校4校)
内 容 授業中の別室での個別日本語学習指導、放課後の教科学習補助等
活動回数 延157回

②研修会の開催

実施日 令和3年8月28日(土)
対 象 当協会子ども日本語学習サポーター登録者、日本語指導者など
内 容 ①講義「岡山の外国人児童生徒の現状、教材開発(多読、ドローイング)」
山根 智恵氏(山陽学園 総合人間学部 言語文化学科 教授)

②グループワーク

各グループから多読教材とドローイングで利用するために絵を発表

参加者 38名

(9) 日本文化紹介事業 [支出額 18 千円]

内 容 在住外国人と日本人参加者が集い、交流し理解を深める。
※新型コロナの影響で中止

(10) 「やさしい日本語」の普及事業 [支出額 75 千円]

実施日 令和4年2月26日(土)
内 容 日常生活や災害時において、外国人に情報提供が正しく適切に伝わるよう、どこの国の人にも理解できる「やさしい日本語」について研修を行う。

※新型コロナによりオンラインで実施

対 象 協会ボランティア、日本語ボランティア、学校教諭、多文化共生コミュニケーションサポーター、地域共生サポーター等

参加者 19名

6. NGO・NPO・ボランティアの育成・支援に関する事業

(1) ボランティア登録制度の運営 [支出額 296 千円]

【国際ボランティア人材バンクの管理運営】

内 容 国際ボランティア(通訳・翻訳、ホームステイ・ホームビジット受入、日本語指導、協会サポーター、IT等9分野)の登録、ボランティア紹介等

登録者 延279名(分野別登録者の計)

活動実績 延1,518名

・通訳・翻訳ボランティア 延80名

(英語21名、中国語(簡体字)14名、中国語(繁体字)3名、韓国語7名、ベトナム語13名、ポルトガル語11名、フランス語0名、タガログ語2名、スペイン語3名、インドネシア語4名、タイ語1名、ネパール語1名)

・ホームステイ受入1 延0家庭

・ホームビジット受入 延0家庭

・日本語指導ボランティア 延1,013名(OJC 588名、ONN 425名)

・日本文化紹介 延0名

◦外国紹介	延 5 名
◦協会サポーター	延 4 名
◦IT	延 7 名
◦協会ボランティア 情報相談コーナー	延 117 名
◦協会ボランティア 図書資料室	延 292 名

【ボランティア交流会】

実施日	令和4年2月11日（金・祝）10時30分～12時45分
内 容	・講演「活動のヒントを見つけよう」 西村 こころ氏 （特定非営利活動法人 岡山NPOセンター参画推進センター所長） ・グループワーク ※新型コロナによりオンラインで実施
対 象	協会のボランティア登録者
参加者	17名

(2) 災害時多言語支援センター設置事業〔支出額 681 千円〕

内 容	①災害時の外国人支援のために、岡山県災害時多言語支援センターの設置・運営の手順を具体的に書いた「設置・運営マニュアル（実務者用）」をもとに、職員等を対象にした研修訓練を実施 ②災害時多言語支援センター運営に必要な物品、備蓄品を整備
場 所	岡山国際交流センター 1階情報コーナー
実施日	令和4年1月16日（日）13時～16時05分
参加者	34名（協会職員12名、県職員8名、岡山市職員11名、倉敷市職員3名）

(3) 災害救援専門ボランティア（通訳・翻訳）研修事業〔支出額 70 千円〕

実施日	令和4年2月13日（日）13時30分～16時
参加費	無料
対 象	・災害救援専門ボランティア（通訳・翻訳）登録者 ・外国語通訳・翻訳の知識及び経験を有する人
主 催	（一財）岡山県国際交流協会
参加者	36名
共 催	岡山県、岡山市、倉敷市
後 援	岡山ロータリークラブ
内 容	災害時の外国人支援に関する講義及び通訳シミュレーション 講義①「災害時の外国人支援とボランティアに求められる役割」 高木 和彦氏（NPO 法人多文化共生マネージャー全国協議会 副代表理事） 講義②「災害時の通訳に求められるもの」 時 光氏（NPO 法人多文化共生マネージャー全国協議会 講師） ※新型コロナによりオンラインで実施

(4) NGO 団体の運営助成事業〔支出額 100 千円〕

実施期間 平成3年4月～令和4年2月

内 容 NGO 等の活動を支援するため、(株)岡山県国際団体協議会に助成金を交付

(5) NGO の活性化支援事業〔支出額 119 千円〕

実施期間 令和3年4月～令和4年3月

内 容 NGO 団体を支援し、地域の国際交流・協力活動等の活性化を図るため、活動の一部を助成。1 件につき上限 5 万円

助成団体 4 件

- ・ NPO 法人岡山日本語センター
- ・ 岡山青年国際交流会
- ・ 学校法人アジアの風岡山外語学院 共催 瀬戸内日本語教師会
- ・ 津山にほんごの会

7. 岡山国際交流センターの管理運営

(1) センターの施設及び設備の管理

(2) 岡山国際交流センター貸会議室利用促進事業〔支出額 275 千円〕

内 容 ・ 貸出用 PR 用パンフレットの修正及び再版
・ ホームページ、SNS 関連の新たな利用促進方法の検討、実施

(3) 岡山国際交流センター ホームページの運用〔支出額 53 千円〕

ホームページを利用して、センターと協会の事業を紹介するとともに、岡山国際交流センターの貸施設などの情報を提供する。

8. その他

(1) 会報誌「おかやま国際交流」の発行〔支出額 794 千円〕

会報誌「おかやま国際交流」を年 4 回発行 (10 頁/各号 1,500 部)

(2) 協会ホームページの運用〔支出額 1,131 千円〕

協会のイベント、国際交流・国際理解、外国人支援 等の情報を提供

年間ページビュー数 (令和 3 年度) 延 104,915 件

年間新規ユーザー数 (令和 3 年度) 延 26,066 件

(3) 会員の状況〔支出額 88 千円/事業収入 916 千円〕

正会員 (令和 4 年 3 月 31 日現在)

①個人会員	182 名	(会費 年額	2,000 円)
②団体会員	32 団体	(会費 年額	10,000 円)
③賛助会員	4 団体	(会費 年額	30,000 円)
ジャパニーズクラス会員	56 名	(会費 年額	2,000 円)